

4 書こうとする意欲を高めるために、「問い方」を工夫しましょう

書こうとする意欲が高まらない生徒の多くは、その理由に、「何を書けばいいのか分からない」ことを挙げています。また、教師のほうでは書き方をきちんと説明しているつもりでも、気付かないうちにワンパターンの説明になっており、生徒のやる気を引き出せないでいる場合もあります。

そこで、「例示」や「問い方」を工夫し、何をどう書けばよいか、何のために書くのかなどについて、生徒に分かりやすく理解させ、書くことへの意欲をかきたてるようにする必要があります。ここでは、1年生の説明的な文章の指導における例を紹介します。

「未来をひらく微生物」(光村図書1年)の学習課題例

文章中から必要な情報を選び出し、次の言葉を分かりやすく説明しよう。まず短い文で簡潔に説明し、次に、例やくわしい説明などを付け足してみよう。

・微生物 ・発酵 ・生分解性プラスチック

このような学習課題に取り組ませる場合、生徒には記述に要する思考の時間や実際の記述の速さなどに個人差があることを考慮したうえで、次のような展開例(1~4)を参考にすると効果的です。

展開例1(要約例を比較することで、記述の留意点を考えさせる)

「微生物」について説明した例を二つ示します。どちらのほうが筆者の説明をまとめた例として望ましいですか。また、その理由は何ですか。

A 微生物には、カビやイースト菌や乳酸菌などがある。微生物には、人間の健康や生活に害をあたえるものもいるが、人間の役に立つ微生物も多い。

B 微生物には、カビのように、人間の健康や生活に害をあたえるものもいる。しかし、イースト菌や乳酸菌のように、人間の役に立つ微生物も多い。

[解答] Bのほうが望ましい。Aは、どんな微生物が人間に害をあたえるのか、また人間の役に立つのか、その区別が付かないのに対して、Bは、その区別が付くから。

このように、例を比較させることによって、文脈に即して記述するに当たっての留意点を考えさせるとともに、「文脈に即して考える力を付けるために書く」ことの理解につなげることができます。

展開例 2（字数等の目安や手だてを具体的に示す）

「微生物」については、次の目安や手だてをもとに取り組んでみよう。

微生物とは何かを説明するとき、字数は 20 字以内で考えよう。

微生物の例や説明にあたっては、次の二つの点からまとめよう。

- ・人間の健康や生活に害を与える微生物
- ・人間の生活に役立つ微生物

このように、字数や使用語句の目安や条件を示すことによって、「文章の表現に即して考えさせる」ことができます。

展開例 3（型を示すことで、記述のイメージをつかませる）

次に示すのは、「微生物」について説明した例ですが、空欄の箇所がいくつかあります。そこにあてはまる表現を引用し、例を完成させ、あとの問いに答えてみましょう。

微生物には、カビのように、（ ）ものもいる。いっぽう、（ ）のように、人間の役に立つ微生物も多い。また、微生物は、（ ）を分解して土に変えるなど、（ ）でも大きな役割を果たしている。

このように、型を示すことで、文脈に即してまとめるうえでの具体的なイメージをつかませることも効果的です。

展開例 4（教師の説明を生かして、要約の目的や手順を理解させる）

まずみんなで「微生物」について考えながら、要約のこつをつかみましょう。

段落には、その段落の内容をまとめている一文がある場合もあります。第 段落がちょうどそうなのです。では、その一文を探してみましょう。

解答例 「わたしたちは微生物に囲まれて生活している。」

第 段落では、微生物の例を紹介しています。文は全部で五つですね。その五つのうち、どれが一番、段落全体を代表していると思いますか。

解答例 「住居を汚したり、食べ物を腐らせたりするカビのように人間の健康や生活に害を与える微生物もいるが、いっぽうでイースト菌や乳酸菌のように人間の生活に役立つ微生物も多い。」

（次ページに続く）

(前ページより)

その文の中で、省略できる言葉はどれでしょう。少し短い文にしてみましょう。

例1 「カビのように人間の健康や生活に害を与える微生物もいるが、イースト菌や乳酸菌のように人間の生活に役立つ微生物も多い。」

例2 「人間の健康や生活に害を与える微生物もいるが、人間の生活に役立つ微生物も多い。」

例3 「微生物には、人間の健康や生活に害を与えるものもいるが、役立つものも多い。」

要約文は、できるだけ短いほうがよい場合もあるし、あまり短くしてしまうと伝えたいことが伝わらなくなる場合もあります。例1、2、3の場合は、どれがいいでしょうか。その答えは、今までに出たことを小さな声に出して読み、要約文になりそうかどうか、自分の声で確かめながら考えてみましょう。

解答例 この場合は例1がよい。もし、文章全体を要約するのであれば例2か例3がいい。しかし、この学習課題では、「例やくわしい情報を付け足し」という条件があるので、どんな微生物がどういうはたらきをするのかを述べる必要がある。したがって、例1がよい。

以上のことを参考に、ノートに書いてください。

例 「わたしたちは微生物に囲まれて生活している。微生物には、カビのように人間の健康や生活に害を与える微生物もいるが、イースト菌や乳酸菌のように人間の生活に役立つ微生物も多い。」

ここで、今までの手順をまとめてみます。

板書例

- 1 段落の内容をまとめている一文を探す。
- 2 なくても差し支えない言葉をけずる。
- 3 要約文にまとめるために、読んで確かめながら書く。

この手順で学習をすると、どんな国語の力が身に付くと思いますか。

発言例

- ・文章を詳しく読もうとするようになる。
- ・文章に書かれていることを正確に読もうとするようになる。
- ・文章の内容をまとめる力が身に付く。 など

では、そういう力をさらに身に付けるために、学習した手順を生かして、次の「発酵」に取り組んでみましょう。時間は8分程度とします。必要があれば、ペアで相談してもかまいません。あとで発表してもらいます。